

働き方に満足している職員の割合は58.4%から67.7%に

令和5年8月号の本欄で「県民サービスの向上は県庁の職場環境の改善から」と題して、「県職員に働きやすい職場環境を提供するのはトップである私の責務であり、職員がそうした環境でやりがいをもって仕事をするのであれば、県民への行政サービスもよくなるはず。そこで、『県庁の働き方・職場環境改革推進会議』を立ち上げた」と報告しました。

会議の立ち上げから3年経ち、様々な成果が出てきました。令和5年度と7年度を比較しますと、新規の長期病休者は69人から48人に減り、働き方に満足している職員の割合は58.4%から67.7%に増え、男性の新規育児休業の取得者は49人から65人に増えました。また、採用試験の改革も行った結果、試験(1種・社会人)の平均的な倍率は3.1倍から5.3倍に増えました。ただ、県庁の職員数は約3,800人で、職場環境の改善が隔々まで及んでいるわけではありません。この取組に終わりはありませんので、粘り強く続けてまいります。



奈良県知事  
山下真

毎月11日は人権を確かめあう日

人権 コーナー



ていいち先生 ひかりちゃん

希望に添った生き方・働き方の実現へ

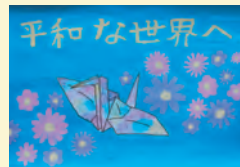
県内の就業を希望する女性の就業率は高くなってきていますが、正規雇用の割合が男性より低い状況です。さまざまな調査から、今でも女性に家事などの負担が偏っていること、男性は長時間労働などで帰宅時間が遅いことが要因の一つと言えます。就業希望の女性の支援には、長時間労働の是正や柔軟な勤務制度の整備が引き続き必要です。

しかし、それだけではなく背景には「女性は家事・育児を、男性は仕事を優先すべき」といった固定的性別役割分担意識が根強く存在しています。そのような意識が、社会の仕組みや慣習となって個人の希望する生き方や働き方の阻害要因になると捉え、この課題解消に取り組むために、令和8年3月に「奈良県男女共同参画プラン」を策定しました。今年度新た

な取り組みとして、市町村や企業・団体と連携し、誰もが働きやすく働きがいのある職場づくりに向けたワークショップを実施します。この取り組みにより、一人一人の行動変容を促進し、社会全体の意識や構造の変化を目指します。

6月23日から29日は男女共同参画週間です。この機会に、性別にかかわらず個性や多様性が尊重される社会について考えてみませんか。

今月のポスター



桜井市立朝倉小学校6年  
なかほら なのは  
中原 奈乃羽さん



桜井市立三輪小学校6年  
にしおか みほる  
西岡 美晴さん

※学校名・学年は作品制作時のものです。

県の情報はこちらでもご覧いただけます

テレビ番組(奈良テレビ)



**ならフライデー9**  
毎週金曜 20:57~21:57  
6月26日(金)は2時間スペシャル  
20:00~21:57

放送中



**県政フラッシュ**  
毎週火曜 21:55~22:00

過去の放送番組はYouTubeチャンネルからご視聴いただけます。

YouTube 奈良県公式総合チャンネル



SNS

Facebook  
まるごと  
奈良県



X  
奈良県  
公式



LINE  
奈良県  
公式



奈良県広報担当  
VTuber  
『奈々鹿』



県民だより奈良  
読者  
アンケート

アンケート回答者の中から県立美術館「みやこのかたち」企画展のチケットを抽選で5組(ペア)にプレゼント!  
締切 6月15日(月)



▲回答はこちら

県民お役立ち情報コーナー パンフレットなどを配置しています

県庁舎食堂(奈良市) 県立図書情報館(奈良市) ★ 県産業会館(大和高田市) ★ 市町村会館(橿原市) 県橿原総合庁舎(橿原市) ★ 吉野町中央公民館(吉野町) ★

★印のある場所および県庁舎1階受付横・屋上階には、専用用紙で県政に関してのご意見・ご提案をお寄せいただく「県政ポスト」も配置しています。

